

## ケアハウスあじさい事業報告

(平成30年度)

### 基本方針より

「ケアハウスあじさい」での生き生きとした暮らしづくりに向けて、転倒骨折などの事故防止や介護予防活動、健康づくり活動に積極的に取り組んでいくとともに、入居者一人ひとりのアセスメントによる個別援助計画を作成し、質の高い個別ケアに取り組んでいく。

### 1. 生活環境作り

- ・ 季節に合わせた飾り物(しめ縄・鏡餅・ひな人形・五月人形・七夕飾り・クリスマスツリー等)を施設の共用の場に飾り、施設の庭で咲いている花や、時には購入した生花を置くなどをし、入居者に季節感を楽しんでいただけた。
- ・ 入居者は職員と一緒に相談しながら飾り付けをすることで、一体感を持ち共用場所の空間に関心を持っていただいた。

### 2. 介護予防及び健康づくりへの推進・充実

- ・ いきいきクラブでは、外部からの講師を呼んだ講習会や、医師による「心臓突然死の防止と簡単蘇生法」の講演を行ったり、体操や脳を使ったゲームをすることで、健康づくりに関心を持っていただくよう努めた。
- ・ 入居者の中では歌が好きな方も多く、近くのカラオケボックスに行く機会を設け、たくさんの方に参加していただいた。
- ・ 毎朝決まった時間にラジオ体操をすることで運動不足の予防にも繋がっている。

### 3. 地域化活動

- ・ H31年1月15日に福文舎創立20周年を迎え式典を挙行し、多くの来賓、近隣の方に参加いただいた。またふるさと祭りを同時に行い、もちつきでは入居者家族の子供さんも参加され賑やかであった。またついたもちは入居者家族、近隣の方々にも召し上がっていただいた。昼食は喫茶形式とし入居者、家族と一緒に食べていただいた。
- ・ 浦安小学校との交流行事を実施した。
- ・ 地域交流での「あじさい夏祭り」を実施し、また地域でのお祭り行事に参加した。地域の方との交流や入居者の地域参加に繋がった。
- ・ 平成29年度から介護予防を目的とした「さくら」に毎週金曜日に交流棟を使っていただいた。マクドナルドでのボランティア活動の一環であるドナルドアピランス「マジック・パフォーマンス」が行われる時は案内をさせていただき参加していただいた。
- ・ 榊原病院の医師を講師として招いた講演会では、地域の方や「さくら」のメンバーの方にポスター等でお知らせをし、たくさんの方が講演会を聞きに来られた。
- ・ 広報誌「あじさい通信」を作成することで入居者同士の会話やあじさいの活動を地域や家

族の方々に知って頂くために、とても重要であることを日々感じているため、作成方法や内容の工夫を課題としていく。

#### 4. 感染症・食中毒の予防・まん延防止と健康管理

- ・ 定期健康診断(胸部レントゲン4月)、インフルエンザ予防接種(11月)の実施。
- ・ 毎月、茶話会にてその時期の流行する感染症などについての啓発を行っており、今年度は入居者の中でインフルエンザにかかった方が1名出るも施設内で蔓延せず落ち着いていた。また昨年同様共用部分や事務所に加湿器を置き乾燥を防ぎ予防を行った。
- ・ 共用部分の手すりや取っ手の毎日の消毒と、来客者に向けた手洗いうがいのポスターでの啓発、自由に使うことができるように玄関にマスクを置いて予防対策を行った。
- ・ 施設内研修においてはC型肝炎について学び、熱中症にならないための予防と手洗いについての研修会を行った。

#### 5. 事故防止対策の徹底

- ・ 施設設備の使用について、入居者から意見を伺う機会(あじさいの会・茶話会)を作ることと、予防に向けた早期の対応を実施した。
- ・ 施設設備の不備による事故発生防止の「設備点検管理表」による定期的な点検が出来なかった。来年度の課題として計画していく。
- ・ 居室のナースコールの点検を毎月実地していくことで、緊急時の連絡体制に不備の無いように努めた。

#### 6. 栄養・給食

- ・ 食事アンケートの実施。
- ・ 毎月の給食委員会で入居者代表の方に参加して頂き、給食についての意見を徴収し毎日の事が入居者の嗜好に沿うものでかつ必要な栄養なバランスが取れるものになるよう、日々の献立作りに役立てた。
- ・ 職員が企画した中華飲茶では、演出にも工夫を凝らし入居者に喜んでいただけた。
- ・ ふるさと祭りでは喫茶形式でいくつかのメニューの中から選んでいただき食事を提供した。

#### 7. 職員の質の向上

- ・ 施設内研修に今年度も岡山県の講師派遣事業を利用した外部講師を招くなど、より充実したものになった。外部研修への参加について管理栄養士は参加することができたが介護職員については昨年より少なく不十分であった。個々の研修参加を増やし、部会などで参加報告をし情報交換を行っていききたい。
- ・ 接遇・マナーの面では言葉使いや聞く姿勢を常に意識し、入居者やご家族との信頼関係を築けるよう心掛けたい。

- ・ ケアハウスという「見守り支援」の特徴から、状況判断を伴う臨機応変であり、かつ入居者や家族の立場に立った気配りが求められている「豊かな人間性」が今後の研修の課題である。

#### 8. 2棟におけるグループホーム的ケア（認知症ケア）

- ・ 3月現在、認知症高齢者7名、虚弱高齢者1名の心身状況となっている。2棟での支援が認知症ケアというだけでなく、広義での高齢者にとっての家庭的な空間での安心した生活を送っていただく場所となっている。
- ・ 1棟から2棟へ転居することにも取り組み、1棟入居者の安心にも繋がっている。
- ・ 少人数での生活で、それぞれが居心地の良い居場所となるように支援していく、役割を作り出せるように、個別援助を明確化し具体的に行っていくことを課題としている。
- ・ 2棟で孤立した生活を送るのではなく、1棟に出向き歌の会に参加したり、1棟の方達と一緒に行事へ参加したりと交流を持ち、人との繋がりを持っていただく。

#### 9. 趣味・余暇活動実施

- ・ H30年度は旧閑谷学校と日生へ旅行に出掛けた。天気にも恵まれ閑谷学校の紅葉はとても美しく四季を感じていただくことができた。昼食には日生で新鮮な海の幸を食べていただいた。また、帰りには「日本一の駄菓子屋」へも寄り、なかなか個人での遠出が難しい入居者も職員が同行することで安心して参加していただけた。
- ・ 園芸が趣味でお元気な方が施設の庭の草取りなどを不定期に行って下さっている。
- ・ 余暇活動を増やすことで1・2棟の入居者同士の交流に繋がり、お互い刺激になった。
- ・ 入居者が充実した時間を過ごせるように、関心のあるクラブ活動を増やしていきたい。他にも来て頂ける講師やボランティア等、検討していくことが課題

#### 10. 職員体制 H31. 3現在

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	管理栄養士
1名	1名	(正) 1名	(正) 3名 (非) 3名	(非) 1名

#### 11. 防災

- ・ 年3回の避難訓練・消火訓練を行った。
- ・ 7月にあった豪雨災害を受け、水害対策について改めて考え、ライフジャケット70着とゴムボート1隻を理事長の指導により導入した。また、避難訓練の際ライフジャケットを着用し実際にボートを使用した訓練を行った。
- ・ 避難計画についても災害の種類に応じて適時計画立て直しを行う必要がある。

## 1 2. その他

あじさいの会(入居者自治会)と茶話会(入居者全員と情報・意見交換)を毎月開催し、入居者間の親睦及び共同生活上での問題点等の改善に努めた。

## 1 3. 今後の課題

外部で行われる研修へも積極的に参加できるよう努めていく。勤務を調整してできるだけ参加できるようにしていく。

内部研修にもより力を入れ職員一人一人のスキルアップに繋げ、入居者の方が安心してよりよい生活を送っていただけるよう努めたい。

また、適切な記録の書き方や伝え方を意識し、職員間の連絡・相談を適時に行うことで情報交換をしっかりと行い職員間の連携の向上を図り、入居者や関係者への対応に他事業所との連携にばらつきの無いように努めていく。

ケアハウスで行える看取りについて法人全体で取り組んでいく。生活の場であるケアハウスが中心となるので、意識を高めていきたい。

ケアハウスらしい自立した生活を少しでも長く続けていただけるよう、潤いのある時間を1日でも多く増やしていくと共に、個別援助計画をより充実したものにできるよう、職員全員で取り組み、日々のケアに繋げていきたい。

### 3. 平成30年度 ケアハウスあじさい 事業報告(資料)

#### (1)平均年齢

H31.3.31

年齢	人数	平均年齢	最高齢	最低齢
男性	11	79	92	69
女性	26	85	96	69
計	37	83		

#### 男女別年齢状況

年齢	男性	女性	合計
60～69	1	1	2
70～79	5	4	9
80～89	4	15	19
90～	1	6	7
合計	11	26	37

#### (2)入退居月別推移

月	入居	退居	退居理由	退居先
4	0	2	体調不慮にて入院中急変し亡くなる、ADLの低下により転居	グループホーム
5	1	0		
6	2	4	病死、骨折し老健へ転居、精神的不安定により転居	介護老人保健施設、グループホーム
7	2	0		
8	1	0		
9	0	2	病院にて病気療養中亡くなる、ADLの低下により老健へ転居	介護老人保健施設
10	2	0		
11	0	1	家庭の事情により自宅で生活することとなる	自宅
12	1	0		
1	0	2	病院にて病気療養中亡くなる	
2	2	1	骨折し入院となり特養へ転居	特別養護老人ホーム
3	0	0		
合計	11	12		

#### (3)介護保険サービス利用状況(累計)

##### 訪問介護

事業所名	H29	H30
あじさい	21	24
ひまわり	6	6
ニチイ	1	1

##### 訪問看護

事業所名	H29	H30
あーくす	4	3
医師会	2	2
まいんど	1	1
たんぽぽ	0	2

##### 通所リハビリ

事業所名	H29	H30
やすらぎ	2	2
ほがらか	1	1

#### (4)要介護度

	H29	H30
自立(未申請も含む)	4	4
要支援1	5	6
要支援2	4	6
要介護1	11	10
要介護2	9	6
要介護3	4	4
要介護4	0	0
要介護5	1	1

#### 通所介護

事業所名	H29	H30
ふるさと	8	13
愛光苑	2	3
どるちえ	6	5
アルフィック十日市	2	2
アイル岡南	1	1
ひだまりの里	1	1
塚崎整骨院	2	2
健リハビリ	0	2
リファイン	2	2
かおる	1	2
西市	1	1
ココファン	1	1
ツクイ	2	2
みゆき	2	1

##### 訪問リハビリ

事業所名	H29	H30
松山医院	1	2
たんぽぽ	2	2
こうなん	3	2
あーくす	0	2

#### (5)受診医療機関診療科目

診療科名		
内科	心臓外科	整形外科
呼吸器科	精神科	眼科
循環器科	心療内科	耳鼻科
泌尿器科	歯科	皮膚科

5

## (6) 救急・事故及び苦情解決状況

### 救急・事故

救急	件	転倒 5、転落 1
事故報告	件	転倒 18、誤薬 1、不穩外出 2、ずり落ち 1

### 苦情解決

日時	苦情内容	解決策・結果
0件		

## (7) 入院状況

性別	理由	入院先	入院～退院
女性	精神面の不安定	慈圭病院	H30. 2. 13～H30. 5. 7
女性	大腿骨頸部外側骨折	労災病院	H30. 3. 4～H30. 5. 31
女性	体調不慮	セントラル病院	H30. 3. 30～H30. 4. 1
女性	心臓カテーテル検査	労災病院	H30. 4. 26～H30. 4. 27
女性	精神面の不安定、薬の調整	慈圭病院	H30. 6. 27～H30. 8. 2
女性	生体検査入院	労災病院	H30. 7. 5～H30. 7. 12
女性	骨折で入院中に癌が見つかる	岡山赤十字病院	H30. 7. 15～H30. 9. 9
男性	体調不慮・薬の調整	慈圭病院	H30. 8. 21～H30. 12. 1
女性	胆石・すい炎・胆のう腫れ	労災病院	H30. 9. 3～H30. 9. 12
女性	体調不慮からの療養入院	セントラル病院	H30. 11. 19～H31. 1. 9

## (8) 入居相談状況

### ①相談方法別(件)

電話	来舎見学
14	15

### ②相談者別(件)

本人	家族	関係機関	その他	合計
6	14	7	2	29

## (9) 研修

### 外部研修

月日	職種	研修内容
H30.10.2	管理栄養士	集団給食衛生管理
H30.10.10	施設長	公正採用経営者研修
H30.12.1	施設長	介護を通じて人権を考える
H31.2.14	施設長	公正採用研修

内部研修	研修内容
感染症対策委員	「福文舎感染症対策マニュアル」「集団給食衛生管理研修会報告」「インフルエンザ警報対策」
	「熱中症・手洗いについて」「C型肝炎について」 ※毎回感染症・食中毒発症状況の報告あり
事故防止対策委員	「セーフティマネジメント」
虐待防止対策委員	「地域包括支援センターにおける虐待防止」
身体拘束研修会	「福文舎 身体拘束に関する指針より、身体拘束について」
	「介護職員のための高齢者虐待防止・身体拘束を学ぶ」
その他	「介護現場で役に立つ知ってるようで知らない体の仕組み」
	「介護に必要な精神障害の理解」

(10)趣味・余暇活動実施と評価

活動名	実施日	内容	総評価
あじさい喫茶	6月	演芸会&あじさい喫茶	演芸会での喫茶では生菓子、調布、御座候、最中などを用意し、とても喜ばれた。これからも入居者の希望にそった喜ばれる喫茶を企画していきたい。
	9月	敬老会&喫茶	
ヨガ教室	毎月1回	講師の指導のもと、その人に応じた姿勢を保ち呼吸法に合わせ、マットや椅子を使用して無理のない動きでゆっくり体を動かす。	参加される入居者の健康に対する意識の高さがうかがえる。無理なく体を動かされており自身の体の状態もよく把握されている。先生との会話も楽しまれており月に一度のヨガ教室を楽しみにされている様子。できるだけ多く参加していただけるよう、声掛けを行っていききたいと思う。
押し花教室	毎月1回	フォトスタンド、ミニ色紙、コースター、しおり、ハガキ	先生と職員が摘んだ草花で押し花を作り、入居者の皆さんは季節を感じながら押し花を完成することができた。作品作りを通じて個性の発見や会話を楽しまれ、また仕上がった作品はケアハウスの談話室や廊下に展示したり、浦安小学校文化展に展示したり友人、家族にプレゼントされることもあり作品作りの励みにもなった。
いきいきクラブ	4月, 5月	アンケート実地、浦安公園ウォーキング	マクドナルドによる دونالدアピアランスは、さくらのメンバーの方にも参加していただき盛り上がった。また、普段あまり食べることのないハンバーガーを注文し、入居者にも喜ばれた。榊原病院の講演会では地域の方も参加され皆さん熱心に話を聞かれていた。講師の先生の話も分かりやすく、人形を使い実践できたことも良かった。毎年参加している浦安小学校文化展の作品作りではみなさん和気あいあいと作品作りを楽しんでいた。ウォーキングやカラオケには限られた人しか参加されなかったため、施設内で出来る運動など増やしていきたい。
	6月, 7月	マクドナルド、Donaldアピアランス	
	8月, 9月	ヤクルトさん講習会、深山公園散策	
	10月, 11月	講話「心臓突然死の防止と簡単蘇生法」、浦安小学校文化展作品作り	
	12月, 1月	浦安小学校文化展作品作り	
	2月, 3月	体操、言葉作りゲーム、カラオケボックスに行こう	
園芸クラブ(草花)		施設周辺に季節の草花を植え、散歩コースを造る。珍しい植物を植えたり、草取りもし、入居者と共に話題づくりをする。	植物の成長を見ることで季節感を味わっていた。庭にできた季節の草花を入居者の方と一緒に摘み共用スペースや居室に飾り、入居者にも喜んで頂けた。
園芸クラブ(野菜)		畑作業の関心ある入居者と、季節に応じて大根・玉葱・さつま芋を植えつけ収穫する。又、収穫した野菜はそのまま、或いは加工しふるさと祭りなどで販売することで入居者の作業意欲へと繋げることを目的としている。	今年度も、手伝ってくださる入居者がいて、夏祭りや行事で使うトウモロコシ、大根、サツマイモなどを作ることができた。今年度は、ハウスを利用した様々な野菜や果物を計画的に栽培していき販売していきたい。
おでかけでえ	毎週月曜日と不定期	スーパーへの買い物援助、外食計画援助、市内での催し物(希望外食・講演会など)外出計画援助	今年度も新しく入居された方々はさまざまな催し物に関心があり毎回参加者も多くなってきている。毎週の買い物などの近隣への外出も外への関心の視点は健康の証と捉え、できる限り外出行事の計画をしてゆく必要性を感じた。

## (11) 行事・交流事業・各会議実施状況

行事名		地域交流行事		会議	
月	日	内容	日		
4	5	お花見食事会(1・2棟)		企画運営会議	
	9	あじさいの会		サービス調整会議	
	10	お花見ドライブ		給食委員会	
	25	茶話会			
	27	健康診断			
5	9	あじさいの会		企画運営会議	
	10	いきいきクラブ		サービス調整会議	
	13	母の日の贈り物		給食委員会	
	23	昼食おでかけ外食		感染症対策委員会	
	25	茶話会			
6	6	あじさいの会	20	浦安小3年生との交流会	企画運営会議
	8	演芸会(若葉会)			サービス調整会議
	15	いきいきクラブ			給食委員会
	17	父の日の贈り物			
	26	茶話会			
	29	避難訓練			
7	5	七夕飾り	14	あじさい夏祭り	企画運営会議
	11	あじさいの会	23	夏休みフリー塾(ヨガ)	サービス調整会議
	24	茶話会	26	夏休みフリー塾(宿題)	給食委員会
			27	夏休みフリー塾(眼科講習)	
8	8	あじさいの会	1	夏休みフリー塾(押し花)	企画運営会議
	23	茶話会	11	浦安地域ふれあいフェスティバル	サービス調整会議
	24	いきいきクラブ	19	地域防災会議	給食委員会
			22	夏休みフリー塾(パッキング)	感染症研修会
9	5	健康診断(深夜勤務者)	20	浦安小3年生との交流会	企画運営会議
	6	あじさいの会	22	浦安荘祭り	サービス調整会議
	13	敬老会&喫茶			給食委員会
	24	お月見会			福文舎20周年記念式典打ち合わせ
	25	茶話会			
	27	いきいきクラブ			
10	3	あじさいの会		泉学園祭り	企画運営会議
	11	ミニ運動会&芋煮会		かるがも祭り	サービス調整会議
	25	茶話会			給食委員会
					福文舎20周年記念式典打ち合わせ
					感染症対策委員会
11	6	あじさいの会	13~15	芳泉中職場体験受け入れ	企画運営会議
	8	秋の小旅行(閑谷学校)	29	浦安小3年生との交流会	サービス調整会議
	12	演芸会(岡南傘踊同好会)			給食委員会
	16	榊原病院出張講演会			福文舎20周年記念式典打ち合わせ
	16	インフルエンザ予防接種			
	27	避難訓練			
	30	茶話会			
12	7	あじさいの会	13	浦安小文化展見学	企画運営会議
	20	あじさい忘年会			サービス調整会議
	25	茶話会			給食委員会
1					福文舎20周年記念式典打ち合わせ
	8	初詣			企画運営会議
	9	漬物作り			サービス調整会議
	10	あじさいの会			給食委員会
	15	とんど焼き&焼き芋			福文舎20周年記念式典打ち合わせ
	18	漬物袋詰め			感染症対策委員会
	19	福文舎20周年記念式典 ふるさと祭り			
	31	茶話会			
2	1	節分(豆まき)			企画運営会議
	5	あじさいの会			サービス調整会議
	14	バレンタインの贈り物			給食委員会
	21	昼食(飲茶)			感染症研修会
	27	いきいきクラブ			
3	3	桃の節句	12	浦安小3年生との交流会	企画運営会議
	5	あじさいの会	12.13	玉野高校職場体験	サービス調整会議
	14	いきいきクラブ			給食委員会
	27	茶話会			身体拘束委員会
	29	避難訓練			

※毎月一斉清掃を利用者さんに参加していただき行っています。

# デイサービスセンターふるさと事業報告（案）

（平成 30 年度）

## 1. 基本方針

在宅で生活している認知症高齢者を対象として、可能な限り自宅で、その有する能力に応じて、自立した質の高い生活が出来るよう、プライバシーを守り、的確な支援を行っていく。また、介護者や家族の相談や情報提供に積極的に取り組み、介護者の心身にわたる介護負担や、不安を軽減し、ゆとりある介護を生み出していく。そして、このことにより、認知症高齢者の心の安定を図り、生き生きとした暮らしづくりへとつなげていく。

「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」というケアの方針を基に、画一的なケアではなく、以下の6つの方針を持って認知症高齢者一人ひとりに合った援助を行い、「情」を大切にしたいゆとりあるケアを行っていく。①独りぼっちにさせず、話し相手があること。②適度な心地よい刺激がある。③くつろげる、家庭的な環境にある。④その環境に自分の居場所があるという実感がある。⑤強制ではなく「したいこと」ができる。⑥生きがいや出番・役割がある。そのため、介護保険の枠内だけのケアではなく、外出支援などQOLの向上を図る為に必要な援助を積極的に実践していく。

また、地域に開かれた「ふるさと」をめざして、地域住民との交流や地域ボランティアの受け入れを他部署と連携協力し、積極的に行っていく。

## 2. 平成30年度重点目標に対する評価・反省

(1) 安定した運営が行えるように、利用者の確保と、業務改善に取り組む。

① 事業所のPR、広報活動を行う。

- ・毎月居宅介護支援事業所を訪問し、利用実績を手渡しする事を継続して行っていた。
- ・ホームページを活用し、日々の活動、行事などの掲載を行った。来年度は、もう少し頻度を上げていけたらと思う。

また、空き情報の問い合わせがあったこともあり、利用情報を発信し、空き状況が分かるように行っていきたい。

- ・利用者が減少している為、居宅支援事業所を訪問するなど、営業活動が必要である。

② 各職員が意識を持って利用者確保に努める。

- ・前年3月今年度4月で4名の中止者がり利用頻度も多い利用者も含まれており大幅な利用減少があった。

それ以降、新規利用者6名、利用再開者2名あり、例年に比べると多かったが、増収に繋がらなかった。

- ・体験利用の方が合計6名おられ、その中で利用に繋がったのが3名であった。御本人の希望や気持ちの要因もあるが、利用に繋げていけるような相談援助の方法を検討する必要がある。

- ・利用者様確保の為、営業活動を計画的に行う必要がある。

- ・又、利用者確保の為、選ばれる事業所になる為に職員の資質の向上、援助内容の改善など、その都度行っていく

③ 職員一人ひとりの介護技術を向上させ、効率的な人員配置を行う。

- ・職員一人一人が利用者様の事を考え対応してきたが、介護技術の向上という意味では、図れていないと思う。

④ 経費の節約を計画的に取り組む。

- ・使用していない照明、浴室の冷暖房など細めに消すよう徹底した。
- ・又消耗品の購入先を検討し、経費削減に取り組んだ。

⑤ 法人内の介護保険事業所と定期的に連絡を取り、介護保険の情報や、周辺の介護保険事業所の情報を交換し、事業所間の連携力を高める。

- ・毎月1回定期的に実施されるサービス調整会議に参加することで、法人内の介護保険事業所との連絡・調整・連携など図れている。
  - ・周辺の介護保険事業所との情報交換については、事業所訪問、連絡を細かく取るなどして取り組んでいきたい。
- ⑥ 独自の自己評価（事業所及び職員個人）を実施し、意識改善、業務改善に努める。
- ・事業所の評価については、岡山市の自己点検シートを使い評価を行い、業務改善に努めた。
- ⑦ 通所介護における、各種マニュアルを作成し、全職員のケアの統一に活用する。
- ・部会の頻度を増やし、その中で情報の共有や、ケア方針の検討を行っていった。ケアの統一を図っていきたい。ケース検討会も行っていきたい。
- (2) 認知症介護の専門性と質の向上、科学的根拠(理論)に基づいたケアの重視。
- ・内部研修は機会を沢山設けていただき、参加出来る範囲で参加していったが、外部研修については殆ど参加出来ておらず、来年度は参加出来るようにしていきたい。
  - ・センター方式、バリデーション、見当識訓練（RO）などについても専門的な知識のある職員が少なく、全職員が出来るように勉強の場を持つ事が必要と思われる。
- (3) 特色(専門性)のあるサービスを実践し、地域から信頼される事業所にしていく。
- ① 職員間のコミュニケーションを積極的に行い、小規模ならではの家庭的な雰囲気大切に「ふるさと」で安心して過ごして頂き、利用者が継続して在宅生活を続けていけるような支援を行っていく。
- ・利用者及びその家族の生活を支援していく上では必要なサービスではあり、実施するに当たっては柔軟な対応が出来る職員の確保や通常の営業時間帯の職員数確保、安全な環境など様々な問題を考え実施出来るように検討を行う。
- ② 「ゆっくり」、「一緒に」、「楽しく」、そして「その人らしさ」を大切にしていく。
- ・部会や日々の連絡・相談、連絡ノートを活用し、利用者一人ひとりの情報を職員が共有し、利用者の小さな変化にも気付き、より良いケアに繋いでいけるように努めた。
  - ・ ゆっくり、落ち着いて利用できる入浴環境、介護機器等を整備し、入浴困難な認知症高齢者を積極的に受け入れ、気持ちよく入浴していただく。
  - ・利用者ひとり一人の身体状況にあった浴室で、安全を確保しながらゆっくりと個人のペースに合わせて入浴して頂いた。
- 入浴対応は1対1になるので、困難な方がおられた時は検討会を行い、職員・利用者様が気持ちよく入浴・入浴対応出来る環境を作っていきたい。
- ③ 他の事業者で、利用困難な方でも、「ふるさとなら大丈夫。」と思われるようにしていく。
- ・現在利用して下さっている利用者には信頼されていると思うが、他事業所と比較しての部分では弱い所があり、信頼される事業所になるよう努力が必要である。
- ④ 認知症対応型通所介護事業所ならではの細やかな対応を重視し、BPSD（周辺症状）の出現を回避する為の環境整備に積極的に取り組み。
- ・御利用者様の状態に合わせてBPSDが減少するように環境整備をその都度行った。
- (4) 地域のボランティアによる余暇活動を積極的に取り入れていく。
- ① 地域の活動にも参加していき、地域の社会資源の活用を検討していく。
- 福文舎全体ではあるが、地域のお祭りの参加、実習生の受け入れ、小学生の慰問受け入れ、などを行っていった。
- (5) 安全管理及び衛生管理を研究し、取り組んでいく。
- ① ヒヤリハットの考え方を事故防止に定着させる。
- ・ヒヤリハットの記入しやすい用紙を作成し、少しの気付きでも記入していくよう努めていった。その中で事故が起きているので、まだ危険予知という観点で見落とししている点があったのだと思われる。来年度は、部会でヒヤリハットの気付きの確認、事例が上がればその検討、又は再発予防について検討を重ねていく機会を増やしていきたい。

(6) 食事の提供方法を再検討していく。

① 外食の機会を2回作り、出掛ける事が出来た。外食に出られない方が外に出て食事をする事が出来たりいつもと違う環境の中で食事を楽しむ事が出来たと思う。又、散歩に出掛け、外でおやつを食べる機会も作っていった。

畑で野菜の栽培を行い、昼食に添えるなど行っていき、季節の野菜を楽しんで頂けたと思う。

② 担当職員が責任を持って既製品の購入やお菓子作りなど実施してきた。

おやつ作りの機会が少なかった為、活動の一つとして頻度を上げていけたらと思う。今後とも健康面にも気を付けたお菓子の提供が出来るよう心掛けていきたい。

朝のティータイムの時間で、飲み物を数種類用意し、選んで飲んで頂ける形にした。

数種類用意したが、認知症の進行の為選ぶことが出来ない利用者もおられたり、選ぶ形になっている事で少し混乱される時もあった。同じ形で行っていくのがいいかどうか、職員間で話を行い来年度どのようにするか決めていきたいと思う。

### 3. 事業内容

サービス内容、重点目標他についての評価・反省

(1) 送迎 家族の状況・要望に出来るだけ答えられるよう対応を行っていった。利用者の生活時間帯に合わせたお迎え、ベットからの車椅子の移乗、上着など着る更衣介助、車椅子からベットへの移乗介助を行っていった。

又、自宅での排泄介助が難しい利用者に対し、お迎えに行き、そのまま来て頂き援助も行った。

今後も柔軟な対応が出来るよう、職員の意識を変え、サービスが使いやすいような対応を行っていきたい。

(2) 家族の支援 認知症を抱える御家族の精神的な介護負担は大きく、支援・サポートの必要性を感じる。送迎の際に相談を行ったり、運営推進会議の際に参加して頂き、同じ立場の方と話をする機会を設けるなどをもう少し親身に行っていきたい。

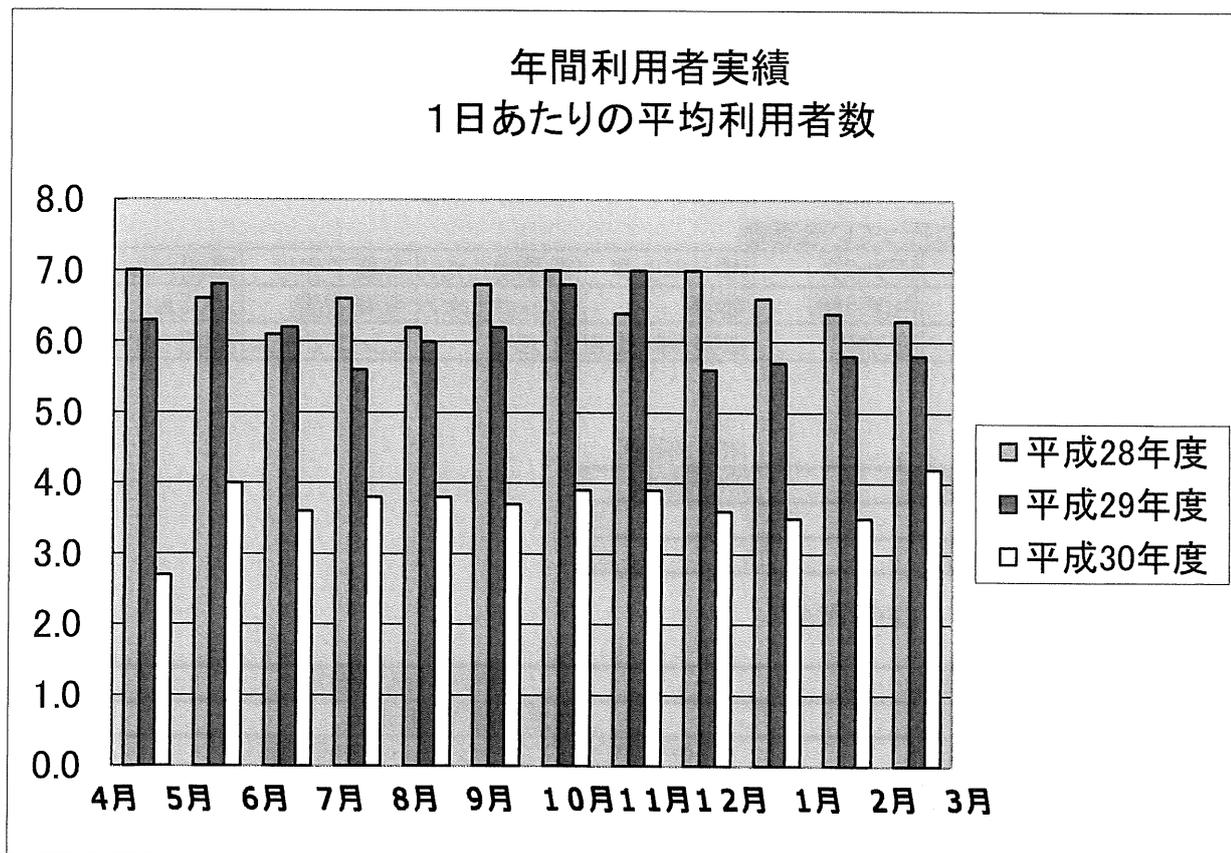
(3) 事故発生 今年度岡山市に報告する事故が1件起きた。部会にて検討会を行い、再発防止に努めた。入浴に拒否があり、職員に手や足を出された際、利用者の足がフットレストにあたり怪我をされるという介護事故が起きた。事故後も拒否はあるが、部会にて対応の検討を行い、2人対応行ったりしながら再発防止に努めている。

(4) 相談・苦情等 苦情について、パットの当て方について、御家族より意見を頂いた事があった。確認不足な為、きちんとあたっていなかった事があったと思われる。今後は、自宅に帰った時に御家族が困らないよう自宅での介護方法も含め対応していきたい。



平成30年度年間利用実績(資料)

	利用者状況					
	利用者人数	開所日数	月延利用人数	1日平均利用人数		
				平成28年度	平成29年度	平成30年度
4月	6	24	67	7.0	6.3	2.7
5月	8	23	94	6.6	6.8	4.0
6月	8	24	87	6.1	6.2	3.6
7月	8	25	96	6.6	5.6	3.8
8月	8	25	97	6.2	6.0	3.8
9月	8	23	86	6.8	6.2	3.7
10月	8	26	101	7.0	6.8	3.9
11月	9	25	98	6.4	7.0	3.9
12月	10	24	86	7.0	5.6	3.6
1月	11	23	81	6.6	5.7	3.5
2月	10	23	82	6.4	5.8	3.5
3月	10	24	101	6.3	5.8	4.2
合計	104	289	1,076	6.6	6.2	3.7



介護度別登録数(H31. 3月現在)

	男性	女性	合計	(人)
介護度5	1	1		
介護度4	1			
介護度3	1	2		
介護度2		2		
介護度1		1		
要支援1		1		
合計	3	7	10	
平均年齢	87.3	86.3	86.6	

行事実績表

月 日	行事名	月 日	行事名
4月4日	お花見ドライブ(深山公園)	11月27日	誕生日会 避難訓練
4月6日	お花見バーベキュー	11月29日	浦安小3年生との交流会
5月11日	サックス演奏会(ボラ)	12月12日	忘年会(レストハウスキング外食)
6月7日	父母の日会	12月13日	浦安小文化展見学
6月14日	誕生日会	12月18日	お寿司会食
6月20日	浦安小3年生との交流会	12月25日	クリスマス会
6月29日	避難訓練	1月8日	初詣
7月5日	七夕会	1月15日	とんど焼き
7月17日	誕生日会	2月1日	豆まき
7月30日	お出掛け外食(味の民芸)	2月14日	バレンタインの贈り物
9月13日	敬老会&あじさい喫茶	3月4日	桃の節句
9月20日	浦安小3年生との交流会	3月12日	浦安小3年生との交流会
9月21日	運営推進会議	3月12・13日	玉野高校職場体験
10月11日	芋煮会	3月14日	運営推進会議
11月8日	秋の日帰り旅行(閑谷学校)	3月20日	誕生日会
11月12日	岡南傘踊り同好会踊り(ボラ)	3月29日	避難訓練
11月13.14.15日	芳泉中学校生徒職場体験		

上記以外日常的に行っている活動

脳活性療法	ドライブ	ボールレク	洗濯物たたみ	お菓子作り	風船バレー
回想法	ちぎり絵	散歩	うた・カラオケ	音楽鑑賞	パズル
かるた(ことわざ)	塗り絵	体操(棒・玄米)	R. O	ビンゴゲーム	日記つけ

利用者の状況

①ケアマネジャーの状況

H31.3現在

居宅介護支援事業所	利用者数
福文舎	10
合計	10

職員研修受講状況

(内部研修)

平成30年8月24日	ヤクルト健康教室
平成30年8月24日	感染症予防研修
平成30年9月18日	セーフティマネージメント(外部講師)
平成30年10月16日	介護職員の為の高齢者虐待防止・身体拘束(外部講師)
平成30年10月25日	地域包括支援センターにおける虐待対応の基本
平成31年1月23日	精神疾患について(外部講師)
平成31年2月7日	知っていそうで知らない介護豆知識(外部講師)

### 30年度ヘルパーステーションあじさい事業実施報告

#### 1. 事業内容

訪問介護及び予防訪問介護・日常生活総合事業・保険外自費サービスの月間利用登録者数は、35～46名と月によってかなり変動がある。昨年とは違い、ケアハウス入居者利用者数が15名程度にとどまり、地域利用者数が多くなってきている。(資料①・②) ケアハウス入居者からの依頼に対しては、昨年同様、比較的利用希望日時に対応可能な場合も多く、又ケアハウス職員により、ご本人が困っておられることの情報収集・把握がすでに出来ているため利用依頼から契約・開始までの時間も短く直ぐにサービス提供が出来ることが多い。また、年度途中より南区に限らず各所の居宅支援事業所への訪問営業活動を行った成果か、福文舎居宅支援事業所以外の事業所より紹介があり(資料⑤)、地域利用者への訪問依頼が増加、地域でお困りの方々へのヘルパー訪問活動が出来つつある。

ケアハウス入居者の利用してくださる方は、掃除・洗濯といった生活援助週1回程度での利用が多い。出来にくい部分のみヘルパーに委ねることで、心身が安定した生活が送れておられるようである。年度前半では、ケアハウス・地域利用者の病気の病状悪化により重介護状態となった方の身体介護訪問あり、関わっている各事業所との連携により、最期を看取る一役を担うことが出来たことは、その方の人生や命に直接関わっていることの再認識し、ヘルパー事務所にとっても大変勉強となる経験であった。

地域利用者に関しては、要支援者の生活支援訪問サービス(いわゆる家事支援)での依頼・問い合わせがほとんどである。日常生活支援総合事業の生活支援サービスの対応をしないヘルパー事業所が多く、当事業所が対応可能であることで、依頼が集中しているようである。要支援者の場合、ほとんどが週1回程度の利用依頼であるが、利用者を実際に増やす意味でも、可能な限りお受けしていきたいと思っている。

要介護者については、病状の悪化により死去や施設入所により訪問件数が激減(資料⑤)年度途中から、前年のような数字の回復が出来ていない事が、大いに影響していることは間違いない。ケアハウス入居者では、移動時間もさほどなく希望時間に毎日訪問することは出来やすいが、地域利用者では居住地によっては、交通事情を加味しながら希望訪問時間に合わせる事が難しい場合も多く、訪問件数増加に繋がっていない実情がある。

介護保険外自費サービスにおける相談問い合わせはあまりないが、問い合わせによっては『電話帳の一番上にあった番号だから掛けてみた』『話を聞くと、短時間でも受けてくれると話されたのでそちらでお世話になる話をすすめよう決めました』などの声が聞かれた。当事業所での保険外自費サービスのアピールポイントは何か、そこを明確に打ち出し宣伝活動をする、もっと問い合わせが増えるのではないかと感じている。

同居世帯で介護保険では対応不可なお宅やお金が少しかかっても依頼したい方が増えているのは、近年の傾向であるので、新規獲得に向けてさらに営業活動や広報活動に力を注がなくてはならない。又、ケアハウス入居者への急な受診対応にもこの度よく利用していただき、家族依頼のもと家族の負担も軽減される上、健康管理の観点からも一役かっているのだと自負している。定期的に毎月及び毎週利用して下さっている方も継続利用中で自費サービスが在宅生活を送っていく上での一助になっているようで張り合いのある仕事が出来ている。(資料③)

年度途中に、サービス提供責任者の入社により充実した人員で営業をすすめてきた。しかし、利用者数の大幅な増加とはならず、収益が表面化されていないが、人員がある事で関係する居宅支援事業所も増え、他ヘルパー事業所の人員不足や営業休止による事業所変更での依頼であったり、へ

ルパー事業所を数か所変わっている方、暴言を吐くことで他事業所が受け入れを辞退された方といった、いわゆる困難事例の利用者の受け入れを積極的に行ってきた。こういった方には、訪問までに又訪問してからも本人やケアマネージャーとの相談等で時間を要することも多く、思うように利用件数が伸びないが、受け入れ対応することで、当事業所の信頼を得ることもとなり、個々のヘルパー資質向上しているのではないかと思う。「まずはあじさいヘルパーに相談してみよう。」と提供いただける事業所を目指したい。(資料④)

平成 22 年度以降、事業展開できるよう目標に掲げてきている移送サービスの開始に向け、運転者講習を数名受けさせていただいた。移送サービスは、ケアハウス入居者・地域利用者共に需要があること各担当ケアマネージャーから聞いているため、手続きをすすめ運営を始めていきたい。

## 2. 活動内容

### ① 事業内容

身体介護においては、可能な限りお受けし対応させていただきたいと思っているが、年度途中より、要介護状態の身体介護希望の利用者の紹介がほとんどない。介護給付の訪問件数が昨年に比べて半減している(資料⑤)。現在のヘルパー数で対応可能な時間帯は十分にあるため効率的な人員配置を考えても更なる利用者及び件数増を目指していきたい。保険外自費サービスに関しては、多様なニーズに答える事が出来るよう、各ヘルパーの資質を高めるとともに、自費サービスのアピールポイントをさらに検討して絞りを、眼科・歯科・個人内科医院等へ営業活動を行うことで、間口を広げ利用者獲得していけるのではないかと考える。こういった依頼もお受け出来る事業体制を整え、又、どんなニーズにも対応出来るヘルパーの育成が必要と思われるため、積極的に研修への参加を行っていききたい。

あらゆる状況で、こういったサービスでも長く在宅生活で暮らしていただけるよう生活環境・家族状況体調変化にもいち早く気付けるよう、サービス提供責任者からは的確な指示を行うこと、又、各ヘルパーには利用者に生活や生命をあずかっているという意識確認を図ること、ヘルパー間でも情報を共有し、知り得た情報を責任者へ確実に報告することを徹底していくことで、長期定期に安定した生活を支えていけるのではないかと考える。

### ② 研修

県訪問介護事業所連絡協議会研修をはじめ、社会福祉協議会主催研修又、介護職ステップアップ講習など沢山の外部研修がある中で、可能な限り研修への出席を心がけてきた。外部研修は、最新の制度の動向や介護・技術情報を知り得ることができ、他事業所の利用者状況・経営状況など情報交換のためにも、今後もさらに出席をさせていただきたいと思っている。事業所内研修にも力を入れる必要があるのだが、本年度は十分に研修の立案が出来ていない。定期購読させていただいている資料を上手く活用しながら、サービス提供責任者としての研修を今後も行っていききたい。制度改正についての勉強や考察力・観察力・予測力を養うための机上研修も積極的に行っていききたいと思っている。(30年実施報告参照)事業所指示研修以外では、昨年同様、福文舎の研修担当者により、研修案内の掲示・回覧をしていただくことで、研修に対する意識付けを行ってきた。今後も同様に掲示等行っていただきたいこと申し出ている。

又、個々のヘルパーが、スキルアップのために必要な個人的参加希望の研修があれば、状況に応じて勤務調整を行い、しっかりと学べる環境を整えていく方針である。

### ③ 各関係機関との連携

居宅介護支援専門員(以下ケアマネージャー)との連絡調整が、主になってくる。利用者の担当するケアマネージャーに、訪問時の変化や要望を、随時報告連絡し合うことは、出来ている。

常に利用者の状態を観察・把握することで、利用者のニーズ把握に努め、利用者を支える「チームケア」の一員であることを意識し、適切な情報提供を行ってきた。これからも、より利用者の立場になって支援していけるようケアマネージャーの言葉にも真摯に向き合って、個々の利用者様の対応に望んでいきたい。

#### ④ ヘルパーの健康管理及び衛生管理

各自の健康管理を徹底していくよう呼びかけを行った。個々の意識の高さを維持していただきたい。

我々が身につけるのは、エプロンである。不衛生にならないよう清潔に努め、又、利用者宅においても、身体介護用と生活援助用エプロンの切り替えを適切に行っていくように徹底していく。

利用者のお宅や身体に触れる機会が多いため、インフルエンザ等感染を受けつけない又持ち込まない持ち出さないといった媒体にならないためにも手指洗い・消毒の励行を心がけている。又、利用者を不快にさせないことを前提とし、必要に応じて手袋・マスクの着用も積極的に着用を呼びかけ対策を講じている。

### 3. 30年度ヘルパーステーション実施状況（別紙参照）

#### 4. 介護度・月別利用者数（別紙資料①）

ケアハウス・地域利用者数（別紙資料②）

自費サービス利用時間数・収入・人数（別紙資料③）

関係する居宅介護支援事業所（別紙資料④）

訪問内容利用回数（別紙資料⑤）

30年度 ヘルパーステーション実施報告

月	日	ヘルパー事業・施設関係 内容	日	研修・会議	日	新規・更新サービス担当者会議他
4	5	お花見バーベキュー参加	17	企画運営会議・地域交流委員会	17	内容変更サービス担当者会議
	27	春の健康診断	19	サービス調整会議	19	内容変更サービス担当者会議
					20	内容変更サービス担当者会議
		問い合わせ 2件			26	内容確認サービス担当者会議
5	22	理事会	15	企画運営会議・地域交流委員会	1	内容変更サービス担当者会議
			16	ヘルパー会議・ケース検討会		内容変更サービス担当者会議
				事業所研修(利用者訪問内容確認)	17	苦情対応にて利用者宅訪問
			18	サービス調整会議	30	内容変更サービス担当者会議
						内容変更サービス担当者会議
6	5	施設外周清掃	12	企画運営会議・地域交流委員会	5	内容変更サービス担当者会議
		外倉庫整理	20	ヘルパー会議・ケース検討会	7	内容確認サービス担当者会議
	8	喫茶手伝い	22	サービス調整会議		利用者救急搬送確認
	29	避難訓練(夜間想定)		看取り検討委員会	11	内容変更サービス担当者会議
					18	内容変更サービス担当者会議
					20	新規契約に利用者宅訪問
					25	他ヘルパー事業所と利用者宅訪問
		問い合わせ 6件			28	苦情対応にて利用者宅訪問
7	6	実施指導	18	企画運営会議・地域交流委員会	5	新規サービス担当者会議
		祭り打ち合わせ	20	サービス調整会議	10	利用者宅へ新サ責紹介(8件)
	12	夏祭りテント準備	27	ヘルパー会議・ケース検討会	11	内容変更サービス担当者会議
	13	夏祭り準備			15	利用者田んぼに転落事故救助合わせ
	14	第20回あじさい夏祭り				救急搬送
					20	内容変更居宅と打ち合わせ
					25	内容変更確認のため利用者宅訪問
					26	内容確認のため利用者宅訪問
					27	内容変更サービス担当者会議
		問い合わせ 2件			31	内容変更確認のための利用者宅訪問
8	11	浦安ふれあい祭り	18	企画運営会議・地域交流委員会	3	実績報告の為、新サ責紹介のため
			21	サービス調整会議		居宅事務所訪問
			24	感染症対策研修会	7	新サ責紹介のため居宅事務所訪問
				ヘルパー会議・ケース検討会	8	内容変更サービス担当者会議
				事業所研修	20	新規サービス担当者会議・契約
				(買物代行支援した場合の記録の書き方)		他ヘルパー事業所と打ち合わせ
9		問い合わせ 4件			17	新規退院前カンファレンス・サービス担当者会議
	5	深夜業務従事者	12	企画運営会議・地域交流委員会	5	新規ヘルパー担当者会議
		健康診断	18	外部講師研修(セルフケアマネジメント)	7	以前問い合わせのあった方、転落による
	26	20周年記念打ち合わせ	19	サービス調整会議		救助
			21	ヘルパー会議・ケース検討会	11	居宅事務所営業訪問
				事業所研修(記録記入の仕方について)		更新サービス担当者会議
					12	居宅事務所営業訪問
					25	更新サービス担当者会議
						新規サービス担当者会議・契約
						更新サービス担当者会議・契約
10					更新サービス担当者会議	
					26	他ヘルパー事業所と打ち合わせ
						更新サービス担当者会議
					28	更新サービス担当者会議
						他ヘルパー事業所と打ち合わせ
						新規サービス担当者会議・契約
	11	芋煮会参加協力	16	外部講師研修(身体拘束について)	1	居宅事務所へ実績報告訪問
	19	20周年記念打ち合わせ	17	企画運営会議・地域交流委員会	3	新規サービス担当者会議
	23	役員会		感染症検討委員会	6	他ヘルパー事業所と打ち合わせ
			24	サービス調整会議	8	区変による担当者会議
		25	外部講師研修(在宅サービスにおける虐待対応)	9	内容変更サービス担当者会議	
		25	栄養士主催調理研修会(赤磐山陽公民館)	12	新規サービス担当者会議	
				15	苦情対応	
				16	新規サービス担当者会議	
				18	新規サービス担当者会議・契約	
				19	他ヘルパー事業所と打ち合わせ	
	問い合わせ 6件			25	更新サービス担当者会議	

17

11	7	20周年記念打ち合わせ	21	企画運営会議・地域交流委員会	1	実績報告居宅事務所訪問
	16	インフルエンザ予防接種		ヘルパー会議・ケース検討会	9	更新サービス担当者会議
	22	2棟ショート部屋片付け手伝い			12	新規サービス担当者会議
	27	避難訓練			22	内容変更サービス担当者会議
					29	更新サービス担当者会議
					30	更新サービス担当者会議
12	4	親睦会打ち合わせ	13	企画運営会議・地域交流委員会	5	新規サービス担当者会議
	6	20周年記念打ち合わせ		身体拘束防止検討委員会	6	更新サービス担当者会議
	20	20周年記念打ち合わせ	14	ヘルパー会議・ケース検討会	7	更新サービス担当者会議
				事業所研修(サ責の役割について)	12	更新サービス担当者会議
			17	サービス調整会議	21	更新サービス担当者会議
			26	薬についての研修会	22	更新サービス担当者会議
1	9	20周年記念打ち合わせ	11	ヘルパー会議・ケース検討会	11	新規サービス担当者会議
	17	20周年記念打ち合わせ		事業所研修(記録用紙の変更にあたり)	16	新規サービス担当者会議
	19	創立20周年記念行事	17	企画運営会議・地域交流委員会	28	新規退院前カンファレンス・サービス担当者会議
		新年会	24	外部講師研修(精神疾患患者について)	29	内容変更サービス担当者会議
					28	新規退院前カンファレンス・サービス担当者会議
					29	内容変更サービス担当者会議
2	25	集団指導	5	ヘルパー会議・ケース検討会	6	内容変更サービス担当者会議
		事業者指導課へ		事業所研修(介護事故防止について)	23	新規サービス担当者会議
		質問票提出		事例検討)	28	退院前カンファレンス・サービス担当者会議
			20	企画運営会議・地域交流委員会		
			21	サービス調整会議		
			27	サービス提供責任者研修 (法改正等今後の介護保険制度の 展望について)		
			27	感染症予防研修会(C型肝炎について)		
			29	企画運営会議・地域交流委員会		
3	12	役員会	5	ヘルパー会議・ケース検討会	1	新規サービス担当者会議・契約
	20	評議員会	18	企画運営会議・地域交流委員会	4	新規サービス担当者会議
	29	避難訓練	20	サービス調整会議	5	退院前カンファレンス・サービス担当者会議
			29	身体拘束防止研修会		契約
					6	新規自宅訪問にて契約
					11	内容変更サービス担当者会議
					22	新規サービス担当者会議
					27	デイ相談員と居宅事務所営業訪問
					区変によるサービス担当者会議	
				31	実績報告の為、居宅事務所訪問	

介護度・月別利用者数(資料①)

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	7(10)	8(12)	8(11)	7(11)	8(11)	8(11)	9(10)	10(11)	10(11)	12(11)	10(10)	10(8)
要介護2	7(9)	7(8)	8(8)	6(9)	4(9)	3(9)	5(9)	5(8)	5(9)	5(8)	4(7)	5(7)
要介護3	6(5)	6(5)	5(5)	6(5)	5(5)	6(4)	6(4)	6(5)	5(4)	4(4)	4(7)	4(7)
要介護4	3(1)	3(1)	4(1)	3(1)	1(1)	1(1)	1(3)	1(2)	1(3)	1(3)	1(3)	0(3)
要介護5	3(0)	3(1)	3(1)	1(1)	2(4)	2(2)	2(2)	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)	2(3)
要支援1	3(5)	3(4)	3(4)	3(3)	2(4)	3(4)	5(5)	5(11)	6(2)	6(2)	6(3)	6(2)
要支援2	8(5)	8(5)	9(5)	10(6)	10(6)	10(5)	11(7)	11(8)	12(8)	13(8)	13(8)	14(9)
申請中												
計	37(35)	38(36)	40(36)	36(38)	32(39)	33(39)	39(40)	40(40)	41(40)	43(39)	40(41)	43(39)

ケアハウス・地域別利用登録者数(資料②)

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護給付												
ケアハウス	16(18)	17(17)	16(17)	16(17)	13(16)	12(16)	12(16)	12(17)	13(17)	13(17)	11(17)	11(17)
地域	15(10)	14(10)	14(11)	12(11)	8(12)	9(13)	11(13)	12(12)	11(14)	12(14)	10(14)	11(14)
予防給付												
ケアハウス	4(5)	4(5)	4(5)	4(5)	4(5)	4(7)	4(5)	4(5)	4(4)	4(4)	4(4)	4(4)
地域	7(6)	7(5)	8(4)	9(5)	8(5)	9(3)	12(7)	14(6)	15(6)	15(6)	15(6)	18(7)
自費のみ	0(1)	0(1)	0(1)	0(1)	2(1)	2(0)	2(0)	2(0)	2(0)	2(0)	3(0)	4(0)
計	42(40)	42(38)	42(38)	41(39)	35(39)	36(39)	41(41)	40(41)	44(41)	46(41)	43(41)	48(42)

\* 請求保留分あり、資料①と利用者数同数でない月あり。

自費サービス利用時間数・収入・人数(資料③) \* 生活援助2000円、身体介護2500円

H30. 4月	1h x 1	2000円	3名	4h x 1	15000円	1h x 6	
2名	1.5h x 1	2500円	9月	1.5h x 1	3750円	1.5h x 2	19000円
5月	1.25h x 1			1h x 2	4000円	1h x 3	6000円
	0.5h x 2	5625円	3名	1h x 4	8000円	1h x 4	8000円
	0.5h x 8		10月	1h x 3	6000円	1h x 3	6000円
	1h x 2			1h x 5	10000円	1h x 4	8000円
	1.5h x 2			1h x 1	2500円	4.5h x 1	16250円
	1.25h x 1	25625円		1h x 1		2h x 1	
	1h x 1	2500円		0.5h x 2	5000円	1h x 1	
4名	1h x 1	2000円	11月	1h x 3	6000円	0.5h x 2	4000円
6月	1h x 1	2000円	2名	1h x 4	8000円	2h x 5	
2名	1.5h x 1		12月	1h x 3	6000円	1.75h x 1	26500円
7月	1h x 1	2000円	3名	1.5h x 1	3750円	1.5h x 1	26500円
2名	3.3h x 1		H31. 1月	1h x 4	8000円		
2名	2.2h x 1	13500円		1h x 3	6000円		
8月	1h x 3	6000円	3名	1.5h x 1	3750円		
	1h x 4	8000円	2月	1h x 1			
	2h x 1			1.5h x 2	10000円		

関係する居宅支援事業所・平成31年3月現在(資料④)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
福文舎居宅介護支援事業所					16							
在宅介護支援センターなみき					2							
岡山南地域包括支援センター												
アミューズ富永ケアプランセンター					1							
あゆむ介護相談事務所												
博愛会居宅介護支援事業所												
ハイマート												
アミューズ富永居宅介護支援事業所福富												

	介護給付	予防給付
南岡山ナーシングホーム在宅介護支援センター		2
株式会社エール		1
コープケアプラン倉田		1
在宅介護支援センターあおえ		1
計12事業所(昨年は7事業所)		

訪問内容別利用回数(資料⑤) \*介護給付は、同じ方に1日数回訪問も含め計算。

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
身体介護	357(191)	372(135)	347(130)	378(140)	366(138)	347(130)	190(130)	155(130)	162(144)	145(151)	120(138)	106(117)
生活援助	116(119)	115(105)	98(183)	111(175)	99(210)	100(265)	96(277)	89(328)	85(334)	79(330)	83(308)	92(353)
身体生活	28(8)	29(9)	8(9)	18(8)	21(14)	17(13)	7(13)	30(17)	20(17)	28(18)	22(21)	33(32)
計	501(318)	516(249)	453(322)	507(328)	486(362)	464(408)	293(420)	274(475)	267(495)	252(499)	225(467)	231(512)

\* 予防給付は1ヶ月に何回訪問しても1回として計算

生活支援I	8	7	8	9	8	9	9	11	12	14	15	15
生活支援II	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
生活支援III	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問I	1	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0
予防訪問II	1	1	1	1	2	2	3	2	2	1	1	1
予防訪問III	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
計	11	11	12	13	12	12	13	16	16	18	19	22

\* 自費サービスの内訳

身体介護	1	2	1	1	1	1	1	2	0	1	1	1
生活援助	1	1	2	1	1	2	2	2	2	2	3	4
計	2	3	3	2	2	3	3	4	2	3	4	5



# 福文舎居宅介護支援事業所 事業報告

(平成30年度)

## 【事業目標取組結果】

(1) 健全で、継続的な運営のために、下記の取り組みを実践していく。

(計画)

① ケアマネージャー一人の担当利用者数(\*2)は、岡山県平均28.9人、全国平均31.6人。厚生労働省からは一人平均35人までが適正とされています。一人当たり35人を目標に利用者を増やしていきたい。

(実施結果)

・ 困難事例を南区包括支援センターと連携を取ることが増え、前年より多くの困難事例の紹介を受けるようになった。

(困難事例) 要介護3の女性

認知症の夫と二人暮らしで、子供はいない。失禁しても、更衣ができていない。お風呂も全く入れていない。夫は認知症のため介護ができず、室内は排泄臭が強い。10月から包括支援センター職員と同行訪問し、最初は玄関先でしか話せず、上にあげてもらえなかった。何回か通ううちに信頼関係ができ、デイサービスセンターふるさと管理者とも同行し、排せつや着替えの介助を行うことで、平成31年1月からふるさとの利用につながった。今後ヘルパー訪問に向けて包括支援センター職員と週1回程度の訪問を続けている。

・ H30年度3月末現在の要支援者の登録数は37名。ケアハウス入居者以外で、H30年度の包括支援センターからの紹介数は19名。南区西からの紹介件数が増えてきて8名となっている。

・ 平成31年3月、事業所全体で、要介護50名、要支援37名。9月には一人当たり37名まで達成することができた。10月に1名職員を増員したため、29名にとどまっている。

(2) 新たに障害者総合支援法における障害者相談支援事業について取り組む。

(計画)

① 相談支援専門員および管理者の資格所得

・ 相談支援専門員とは、障害者棟の相談に応じ、助言や連絡調整棟の必要な支援を行うほか、サービス利用計画の作成を行う。

\* 用件としては、相談支援従事者研修+サービス管理責任者研修の終了により資格を得ることが出来る。

② 指定相談支援事業所の開設について準備をしていく。

(実施結果)

・ 所定の研修を受けることで、指定相談支援員及び管理者の資格を取得する。しかし、事業開始には、事業所登録する必要があり、専従職員が1名必要になる。今の介護支援事業所の体制では、体制が確保できないため、今後の様子を見ていきたい。支援相談員の集まりや、研修には都度検討して、参加していきたい。

(3) 特定事業所加算Ⅲを申請する。

\*特定事業所加算制度は、中重度者や支援困難ケースへの積極的な対応を行うほか、専門性の高い人材を確保し、質の高いケアマネジメントを実施している事業所を評価し、地域全体のケアマネジメントの質の向上に資することを目的とするものである。

また、特定事業所加算Ⅲとは以下の項目を満たす事業所に対し、利用者1人あたり300単位の加算が受けられる制度です。

(A) 常勤かつ専従の主任介護支援専門員を配置していること。

(B) 常勤かつ専従の介護支援専門員を2名以上配置していること。

(C) 利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的開催すること。

(D) 24時間連絡体制を確保し、かつ、必要に応じて利用者等の相談に対応する体制を確保していること。

(E) 当該指定居宅介護支援事業所における介護支援専門員に対し、計画的に研修を実施していること。

(F) 地域包括支援センターから支援が困難な事例を紹介された場合においても、当該支援が困難な事例に係る者に指定居宅介護支援を提供していること。

(G) 居宅介護支援費に係る運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けていないこと。

(H) 指定居宅介護支援事業所において指定居宅介護支援の提供を受ける利用者数が当該指定居宅介護支援事業所の介護支援専門員一人当たり四十名未満であること。

(I) 介護支援専門員実務研修における科目「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」等に協力又は協力体制を確保していること。(平成28年度の介護支援専門員実務研修受講試験の合格発表の日から適用)

(J) 他法人が運営する居宅介護支援事業者と共同の事例検討会・研究会等の実施。(H30年度改正にて追加)

(K) 地域包括支援センターなどが実施する事例検討会などへの参加。(H30年度改正にて追加)

(実施結果)

(A)平成29年10月に常勤2名の職員が主任介護支援専門員となる。

(B)平成30年10月に介護支援専門員1名が常勤職員として採用となり、常勤介護支援専門員2名配置。

(C)毎週木曜日に事業所内で事例検討等の内容で会議を実施。

(D)事務所電話を職員3名が持つそれぞれの携帯電話に、転送するシステムを構築することで、24時間365日連絡が取れるようにする。

(E)平成30年12月からの職員3名における研修計画を作成。

(F)包括支援センターからの困難事例を積極的に受け入れを行っている。(平成30年度実績3名)

(G)同法人内のヘルパーステーションあじさい紹介率約70%(平成30年度)

(H)現在、要介護50名、要支援37名から、介護支援専門員一人当たり、30名弱

(I)平成30年度、岡山県に対し、実習受け入れの届を提出済み

(J)在宅介護支援センターうららかの行う研究会への参加。

(K)南区南地域包括支援センターの行う事例検討会に参加。

以上の結果、平成30年12月1日付で、特定事業所加算Ⅲの指定を受ける。

(4)その他

1)利用の相談・苦情への対応

・コミュニケーション不足による行き違いから、要支援の利用者2名より苦情を受け、1名は、管理者が謝罪を行い、事業所内で担当を交代することで解決する。1名は包括支援センターにまで苦情が上がり、包括支援センターに担当を交代することになったが、苦情の原因であるアセスメントを修正して管理者と謝罪することで解決する。

2)各種請求事務

平成30年10月から総合事業が加わり、岡山市包括支援センターでは新しくソフトを導入し、そのソフトにより、平成31年2月から、レセプト請求を含む給付管理及び、委託料の請求を行っている。

3)研修

別紙研修参加状況表を作成。

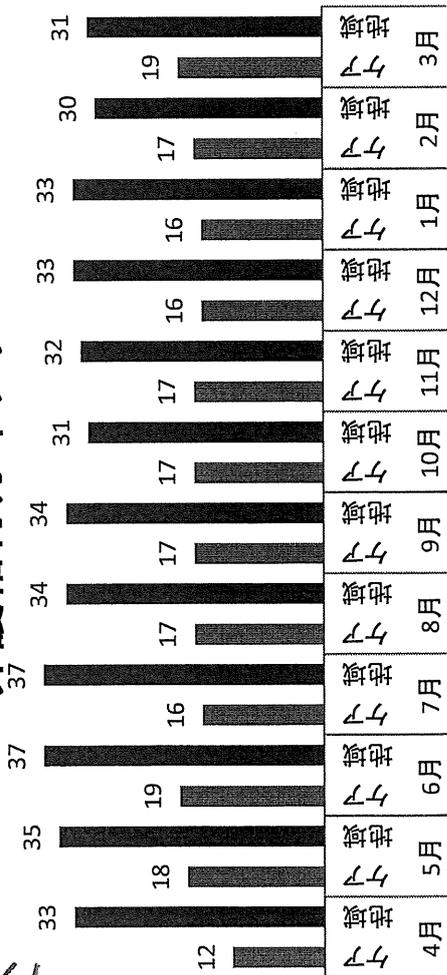
## (4) 研修参加状況

日時	研修名(場所)	参加者
H30.6.5	岡山県介護支援協会主任ケアマネ部会 第1会研修会「運営基準を理解し、法令遵守を意識する」(岡山駅前ターミナルスクエア)	福原
H30.7.12	岡山県相談支援従事者初任者研修1日目(旭川荘研修センター)	花房
H30.7.13	岡山県相談支援従事者初任者研修2日目(旭川荘研修センター)	花房
H30.7.18	岡山県相談支援従事者初任者研修3日目(旭川荘研修センター)	花房
H30.7.19	岡山市介護支援専門員協会ケアマネジメント研修会	福原
H30.8.2	岡山県相談支援従事者初任者研修4日目(旭川荘研修センター)	花房
H30.8.3	岡山県相談支援従事者初任者研修5日目(旭川荘研修センター)	花房
H30.8.9	ケアマネージャー大会「ケアマネージャーのこれ辛～医療・介護連携を進めるために～」	花房・福原
H30.8.23	第2回岡山市認知症疾患医療センター研修会(岡山赤十字医療センター)	奥田
H30.8.30	特定事業所算定事業所全体研修会(岡山西川原プラザ)	花房
H30.9.21	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント研修	福原
H30.10.4	岡山県居宅介護支援専門員協議会第2回研修会	花房・福原・奥田
H30.10.25	要介護認定調査新規研修	花房・奥田
H30.11.22	居宅介護支援専門員協会岡山支部「南区南・南区西 合同勉強会」(ふれあいセンター)	奥田
H30.12.11	岡山県介護支援専門員教会主任ケアマネ部会第3回研修会「職業倫理を理解し、指導助言に生かそう」(岡山西川原プラザ)	花房・福原
H30.12.20	岡山市介護認定調査員現認研修	花房
H31.2.6	介護支援専門員交流会(うららか)	奥田
H31.2.26	地域移行・地域定着支援事業研修会「精神障害者への対応方法について」(ピュアリティ)	花房
H31.2.28	第2回岡山市認知症疾患医療センター研修会(岡山赤十字医療センター)	福原
H31.3.7	岡山県居宅介護支援専門事業者連絡協議会第3回研修(岡山ふれあいセンター)	花房・福原・奥田

平成30年度 月別実績集計

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		年間合計					
	ケア	地域	合計	占率																										
支援1	3	4	3	6	3	2	3	3	6	4	6	4	7	4	8	5	7	5	8	5	8	4	8	4	8	72	117	13%		
支援2	5	9	2	11	6	11	6	11	2	12	2	11	2	14	2	15	3	17	3	17	3	18	3	18	38	164	202	22%		
介護1	2	4	7	6	8	7	7	6	7	6	7	5	8	5	7	8	8	6	6	8	6	8	6	8	85	71	156	17%		
介護2	8	12	7	12	7	11	6	13	6	12	6	13	6	10	7	12	5	13	5	13	5	13	6	12	77	145	222	24%		
介護3	1	8	2	8	2	9	2	9	2	7	3	8	2	8	2	6	2	8	2	7	2	6	2	6	24	91	115	13%		
介護4		5		5		6		6	1	6		6		6		4		4		4		4		4	1	60	61	7%		
介護5	1	4	2	4	2	4	1	3	1	3	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	14	33	47	5%		
支援計	8	13	5	17	9	13	9	13	5	18	6	17	6	21	6	23	8	24	8	25	7	26	6	26	83	236	319	35%		
介護計	12	33	18	35	19	37	16	37	17	34	17	34	17	31	17	32	16	33	16	33	17	30	17	30	201	400	601	65%		
合計	66	75	75	78	75	75	74	74	74	74	74	74	75	74	78	81	82	82	82	82	82	80	82	82	920	920	920			
初回(支)				2												3		2	1	3				1	1	11	12	28%		
初回(介)		3		3		2		1			1		1		3	1	2		2		1	2		1	2	22	24	56%		
入院I																1				1					1	3	4	9%		
退院I 2																				1					0	3	3	7%		
加算計	0	3	0	5	0	2	0	3	0	1	0	2	0	4	0	6	2	5	1	3	1	3	1	3	0	2	4	39	43	
訪問調査				1						4				5				4		2				6		3	0	32	32	
支援報酬	81,270		85,140		85,140		85,140		89,010		89,010		104,490		112,230		123,840		127,710		127,710		127,710		123,840		1,234,530	(円)		
介護報酬	544,899		637,339		676,024		637,339		612,621		612,621		577,152		575,039		731,558		697,498		731,558		697,498		742,156		7,775,804	(円)		
加算報酬	9,189		15,189		6,126		12,252		3,063		6,126		12,063		18,252		21,189		12,189		15,315		12,189		9,189		140,142	(円)		
調査報酬		0	3,240		0		0		12,960		16,200		16,200		6,480		12,960		6,480		6,480		19,440		9,720		103,680	(円)		
報酬合計	635,358		740,908		767,290		734,731		717,654		723,957		709,905		712,001		889,547		856,837		881,063		856,837		884,905		9,254,156	(円)		

介護給付分布グラフ



予防給付分布グラフ

